

2021年  
デジタル  
社会推進賞



# 2021年デジタル社会推進賞

# 銀賞

牧アイティ研究所 代表  
**牧 壮**



「全てのシニアをインターネットで繋ぐ」という  
「Internet of Seniors®(IoS)」を理念として、  
20年以上に亘り、シニアのデジタル活用を実践。

現在85歳。引き続き、シニアに寄り添って、  
シニア目線でのデジタル活用に向けて、活動を継続中。



● ネットで起業

牧 壮さん（六七歳）

優雅で快適  
ペナン島で過ごす  
11年金生活

「ペナンの生活を謳歌しつつ  
仕事をする楽しみ」

待たい中小企業へササー

トをなっています。  
ノートパソコンで毎日通話  
して、日本とペナニの営業点  
にあるので、働くことで社会接点  
を持つから、自分の価値を他人に認  
めてもらっているつもりで生き  
ています。年には2回、ペナニ島でのソーリ  
ト生活をしながら半ばほど楽しめ、週に一  
や二回、ものをおいしい春秋は日本  
で過ごすことがあります。

理想的な年後の生活を後悔さんは、  
長年の経験を活かした「開催の準備  
をフルスケールで手がけた」と語ります。  
「会社のタクトフルでバッ  
グでない」と語ります。新規コンサル  
タントとなりフル日本代表を務め、専門家著  
者として日本代表として活躍してきました。

CAFE 05



# 2021年デジタル社会推進賞

## 銀賞

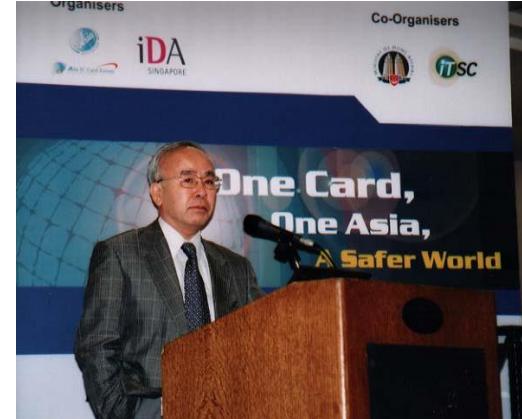
一般財団法人インターネット協会  
副理事長  
一般財団法人ニューメディア開発協会  
顧問・首席研究員

国分 明男



我が国初のインターネットにおける有害情報フィルタリング技術を開発。  
情報化社会における基盤的システムの開発及び普及を推進。

インターネット黎明期からのルール＆マナーの提唱、  
青少年の健全なインターネット利用のための啓発にも尽力。



# 2021年デジタル社会推進賞

## 銀賞

任意団体 老テク研究会事務局長  
NPO法人 ブロードバンドスクール協会監事  
シニアプロジェクトコーディネーター

### 近藤 則子



1992年より老親を介護する友人と老テク研究会を開始。  
国内外の高齢者のパソコンボランティア活動「シニアネット」の創設や相互交流を支援。

自治体との連携が極めて重要である防災や介護分野の情報化において、就労経験の少ない主婦や高齢者の多い自治会役員を支援する活動に取り組む。



# 2021年デジタル社会推進賞

## 銀賞

熊本県被災地における  
高齢者へのデジタル活用支援  
プロジェクトチーム

「シニアがシニアへデジタル技術で支援する」をコンセプトに活動する約1,186名が在籍するボランティア・チーム。。

熊本地震では16名のチームで県内50箇所へのプリンター、Wi-Fiの提供やコミュニティ形成を支援。

その後の豪雨災害などでも、支援を実施。



# 2021年デジタル社会推進賞

# 銀賞

## 加賀市窓口課

マイナンバーカード担当窓口業務の改善や取得インセンティブ施策等により、  
2021年9月1日 現在で、人口に対する交付枚数率「69.3%」を実現。  
全国の市区町村で1位に。



# 2021年デジタル社会推進賞

# 銀賞

熊本大学教職大学院  
情報教育研修会

教員の児童生徒に対する  
ICT等の情報科目に関する育成力を高めるための研修会。  
月1回のペースで数年続けており、延べ参加者は毎年1,000名を超える。

当初は熊本県内での取組だったが、  
コロナ禍を機にオンライン開催が増え、参加者が全国に広がりつつある。



# 2021年デジタル社会推進賞

# 銀賞

岐阜県立東濃特別支援学校  
ICTラボ「Goo」

特別支援学校での児童生徒が、  
デジタル社会に必要な資質・能力を育むことを目指した  
ICT活用の支援に係る校内活動。

「知的障害のある子や年齢の低い子も楽しめる  
アプリ検討・プログラム実践」「3Dプリンタの活用の実践」  
就労支援につながる「情報処理技術者試験の受験支援」等を実施。



# 2021年デジタル社会推進賞

金賞

社会福祉法人プロップ・ステーション  
理事長

竹中ナミ



重症心身障がいの長女を授かったことから、  
独学で、障がい児医療・福祉・教育を学い、  
1991年、プロップ・ステーションを発足。

30年前からICTの可能性に着目し、一流の指導者たちから技術を学び、自立できるチャレンジドたちの輩出を続ける。



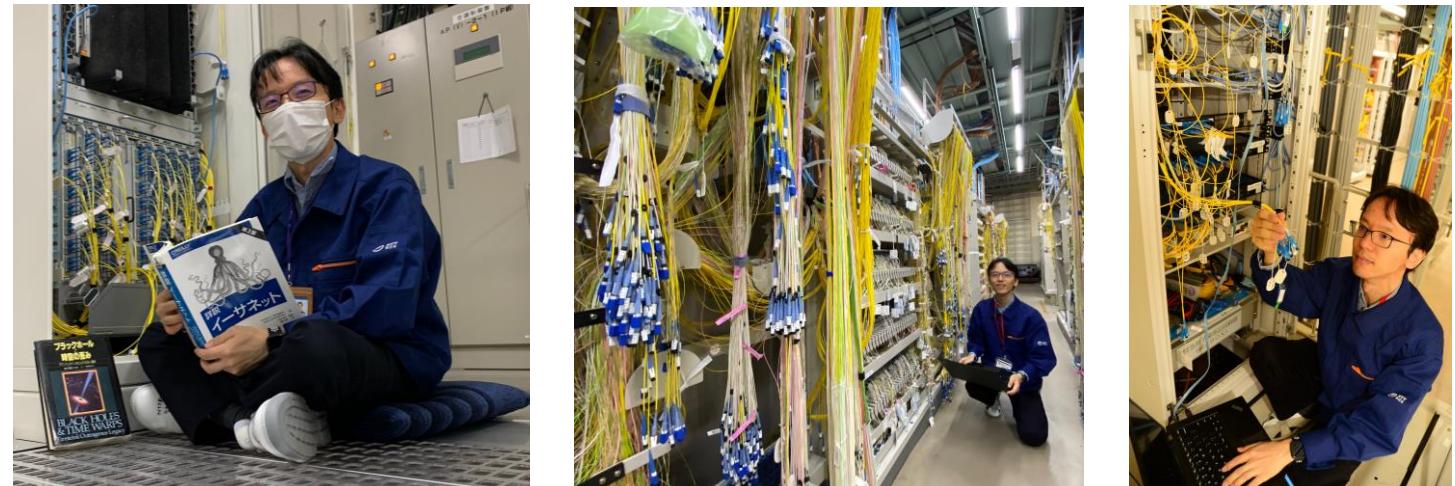
# 2021年デジタル社会推進賞

金賞

筑波大学产学連携准教授  
**登 大遊**



未踏事業初期のスーパークリエイター。  
オープンソースとして全世界数百万人を支える「SoftEther VPN」や  
国内18万人が利用する「シン・テレワークシステム」  
公務員約3万人が利用する「for LGWAN」などを開発。  
システムソフトウェア領域で1万人を育成すること、自分たちで造れる文化をつくることを目指す。



# 2021年デジタル社会推進賞

## プラチナ賞

坂城高校  
及び  
長野県教育委員会



地方の全日制普通科・全校生徒203人の公立高校において、一人一台端末やAI活用型学習アプリなどデジタル学習教材を用いて、「個別最適な学び」と「地域連携型探求活動」に取り組む。

生徒の学力向上に加え、探求力や主体性の向上、そして教員の意識改革に成功。

